

R4年度 冬の学習会 開催！

令和4年度も終わりが近づいてきました。本年度も近畿教育オーディオロジー研究協議会の活動にご協力いただき、本当にありがとうございました。まだまだオンデマンド配信中心の1年間で、オンライン形式での開催がほとんどでした。しかし、もう一息の辛抱。対面形式を中心とした開催も、いよいよ現実味を帯びてきました。早く先生方の顔が見られることを期待しています。

1月28日（土）～2月5日（日）に「冬の学習会」を開催しました。たくさんの先生方にご参加していただくことができました。本当にありがとうございました。

冬の学習会に参加してくださった方々のご意見・感想を紹介いたします。

神戸市立医療センター中央市民病院

耳鼻咽喉科参事・総合聴覚センター長 内藤 泰 先生

参加者の感想

- ・総合聴覚センターの取り組みや求められる機能について説明いただき、難聴児者の支援の必要性、現状と課題、めざすものなどが総合的につかめました。内藤先生の難聴治療に対する姿勢や熱意を感じました。医療と教育の立場は違いますが、めざしているところは同じであることもよくわかりました。そして、それぞれの立場がつながって、難聴児やその家族の負担が軽減され、当たり前の社会参加ができるようにしていくことの重要性も感じ、今、自分の地域で、われわれ教育の立場に何ができるかを考えていきたいと思いました。難聴支援について、大変なことですが、頑張ろうという気持ちを新たにできました。このような研究会や講演会に参加することで、明日の目標ややる気をいただきます。貴重なお話をありがとうございました。
- ・人工内耳装用児の現状がよくわかりました。早期教育相談の重要性を、あらためて認識しました。「最終目標は難聴の子どもたちの自己実現」ということばがとても印象的でした。「夢をもって力強く生きていく」「自分のなりたい自分になっていく」子どもたちがこのことを実現できるように、聴覚障がいの

子どもたちに関わっていきたいと思いました。

- ・人工内耳装用児の現状について、大変勉強になりました。今後、より一層、人工内耳装用児の生活環境が複雑になる中で、聴覚支援センターのような一括した情報の収集や相談機能は大変重要になると思います。また、高齢者の人工内耳装用というのはまだあまりお見かけしませんが、聴覚を保障することが認知症の予防に繋がるというのはとても良いことだと思いました。
- ・最終目標はこどもたちの自己実現、夢を持てばできるという言葉がとても胸に染みました。進路のデータも、知りたかったことが多く大変勉強になりました。You Tube で視聴できたことも大変ありがたかったです。良い講演をありがとうございました。

令和5年度

「近畿教育オーディオロジー研究協議会」の入会案内について

本会では、聴覚障がい児教育における聴覚管理や補聴器フィッティング、聴覚学習などの教育活動を「教育オーディオロジー」として確立し、発展させることを目的に、近畿地区の教育機関が連携し、研修及び研究を行っています。会則及び活動内容の詳細、入会方法については、

本会ホームページ ([http:// www.normanet.ne.jp/~kinki/](http://www.normanet.ne.jp/~kinki/)) にてご確認ください。

令和5年度の予定

- (令和5年) 5月12日(金) 第1回代表委員会 (大阪府立中央聴覚支援学校)
8月16日(水) 第2回代表委員会 (大阪府立生野聴覚支援学校)
8月17日(木) 第24回夏の講演会・講習会 (大阪府社会福祉会館)

午前：講演会講師 福島朗博先生 (社会福祉法人十神やすぎ保育園園長)
テーマ『きこえない子ども・保護者への関わり方(仮)』
午後：講習会講師 阪本浩一先生 (大阪公立大学医学部附属病院)
テーマ『APD領域の実際について(仮)』

- 10月下旬(仮) 秋の講演会
(令和6年) 1月26日(金) 第3回代表委員会・専門研修会 (和歌山)
1月27日(土) 冬の学習会 (和歌山)

近畿教育オーディオロジー研究協議会事務局

〒540-0005

大阪府大阪市中央区上町1丁目19番31号

大阪府立中央聴覚支援学校内

TEL: 06-6761-1419

FAX: 06-6762-1800

メール: kinkieaa@gmail.com